

会 議 要 旨 書

会議名	第3回国立天文台周辺地域土地利用整備計画検討委員会
日時	令和7年10月16日(木)午後6時30分～8時02分
場所	大沢コミュニティ・センター3階 多目的室
出席委員 (20人)	榛澤正夫・生江幸子・菅沼将晴・石崎明・小川琢也・大前良弘・上條梨恵・湯澤弘幸・藤橋初美・倉田清子・海老澤一晃・蔵野貴通・高橋奨・青木睦・間部豊・濱野周泰・田野倉愛・榛澤健司・金井茉穂・盛田羽菜
行政職員 (8人)	国立天文台周辺地区まちづくり推進本部事務局 事務局長 高松真也、理事 齊藤大輔、次長 野崎昭博・越政樹、 主査 山内健二・永田五月・田上敬大、主任 丸岡裕己
会議の公開・ 非公開	公開
傍聴人数	11人
「三鷹市市民会議、審議会等の会議の公開に関する条例」に基づき会議の公開、傍聴入場、会議録の作成についての説明 1 前回のワークショップの振り返りについて 2 グループワーク テーマ「地域の共有地となる地域交流スペースや機能ってどんなのだろう？」 A・B・C・D班の4班に分かれてグループワークを実施 3 全体発表 発表順は順不同 【C班の発表】 学校：音楽室を貸しスタジオ、家庭科室を料理教室、プールをスポーツ大会など市民と共有して使用 図書館：話せるスペース、お気に入りの古本・古着などのシェアスポット、ミニシアターによる映画鑑賞、児童や市民の作品を展示するスペースなど 情報発信：配信スタジオにてラジオ発信、市民主催のイベントなどを告知するみんなの掲示板の設置 グラウンド：スポーツイベント、お祭り、音楽イベントなどができ、カフェを併設して、くつろぎながらゆっくりコミュニケーションができる場 緑地：フィールドワークを行い自然生物を学ぶ場、良いカメラを貸し出し写真を撮れる場、シェア畑・野菜づくり体験ができる場 その他：星が見えるサウナや森林浴ができるベンチ、以前星と森の絵本の家で実施したことがある、太陽の力で作るコーヒーなど天文台と絡めたカフェ、大沢のお土産が購入できるショップ 全体的にセキュリティ面をしっかりと行い、児童・生徒は西側（七中側）、共有部分は東側（天文台通り側）とする。車の出入りやセキュリティゲートの配置、夜は暗いが、天文台の観測のために暗くしているわけではないので全体的に明るくする。また、災害時などエリア全体に聞こえる放送機能が必要と考える。 先生がリフレッシュすることができるコーナーがあると良い。	

【B班の発表】

緑地：子どもや中学生の吹奏楽、おやじの会などが演奏や発表ができる芝生の丘で作る屋外ステージ

森は、放置されると見通しが悪くなり危ないが、整備には費用を要するので、住民参加や花と緑のまち三鷹創造協会と一緒に明るくする。

施設：図書館にカフェ・幼児スペース・学習室があると良い。プールを屋内型にし、夜開放や1年中使える施設とする。学校内には、家庭科室を子ども食堂などに使用可能とし、体育館にはキッズルームを整備し、地域に開放可能な施設とする。また、軽食を購入するための機能があると良い。地域交流機能を管理する事務室を設置し、職員室の近くに配置し連携・情報共有した方がうまくいく。

その他：駐輪場は、車の動線と分け、外灯を付ける、柵で囲む、使用に際し、一定のルールを作る必要がある。車の出入口については、北側は道が狭いので、地域住民の迷惑にならないよう検討する必要がある。

【A班の発表】

現実性とセキュリティを重視した話し合いとなった。第七中と新施設との間の区間を柵などでブロックすれば、セキュリティ面が安心できる。

一般開放：調理室や音楽室を開放する。地域の方や小中学生と一緒に食事ができる空間を確保する。一般開放では、誰でも入ることができる施設とはせず、登録者のみに限定すれば児童・生徒の安全が確保できる。

駐車場のスペースがもったいないので、カフェやコンビニなどを併設するなど、多機能な駐車場とすると良い。

未就学児のスペースが少ないため、屋内・屋外どちらでも一緒に遊べるスペースがあると良い。

緑地エリア：業者が全て木を伐採し、きれいにするのではなく、地元の人たちで作っていくエリアを設ける。なにもないエリアもあると良い。

課題として、夜間管理、外灯などの照明、道路の整備などが考えられる。

【D班の発表】

第七中のグラウンドは土であるため、新グラウンドは芝生のグラウンドが良い。

敷地の端から端までの距離が長いため、自転車での移動も想定するが、歩道と自転車をしっかり区分けして安全に利用できるようにする。

バスも入れる大きな通路にし、駐車場は、多目的に使用できるよう大屋根設置が良い。

羽沢小に記念樹があるので、コモンズに移植してほしい。大きな職員室を1つ整備した方が良い。現第七中と新施設間の道路を安全に通れるよう整備した方がよい。

里山ゾーン：農業体験、焚火コーナー、防災キャンプなど多世代の方が利用できたら良い。

現状維持ゾーン：竹林を管理することができる仕組みをつくっていくのが良い。

4 事務連絡

事務局より次回第4回検討委員会を11月6日（木）に実施する旨の案内